

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

「令和6年度決算審査」について



第157号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



総務関係

減災・防災



ふるさと納税



部活動の
地域移行



ひきこもり支援



社文関係

参加費
無料

蔵春閣の利活用



経建関係

オーガニックSHIBATA



11月29日(土)

午前9時～

議会報告会
「バスツアー」に参加
しませんか!?



※詳しくは17ページをご覧ください

歳入 499億6,197万円(対前年度比5,183万円／0.1%増)

歳出 484億2,235万円(対前年度比7,404万円／0.2%減)

歳入では、国の政策である定額減税の実施等により市税が減少しましたが、大雪等に伴い地方交付税が増加したことなどから、全体では微増となりました。

歳出では、除雪費や定額減税補足給付金事業が増加しましたが、川東中学校長寿命化改良事業の終了等により、全体では微減となりました。

決算審査は協議したテーマについてを重点的に議論を行いました。

事前に
協議し
重点的に
議論した
テーマ

総務関係

- ふるさと納税
- 減災・防災

社会文教関係

- ひきこもり支援
- 部活動の地域移行

経済建設関係

- 蔵春閣の利活用
- オーガニック
SHIBATA

議員から選抜
された委員が
決算審査特別
委員会で議論

一般会計決算審査

特別委員会

委員長	阿部 聡
副委員長	宮野 清隆
	比企 広正
	高橋 茂
	惣山 かすみ
	宮村 幸男
	三母 高志
	小川 徹
	広岡けんじろう
	渡邊 喜夫

議員間で意見を交わした「自由討議」の内容

防災・減災

大規模災害時の避難所では、空調がある部屋へ振り分ける指示が必要では。

- 協定企業の店舗などを避難所として利用することが有効ではないか。
- 民間店舗の活用は良いアイデア。線状降水帯による大雨時などの車の避難場所としても協定は役立つ。
- エアコン付きの教室を全て開放し教室へのスムーズな避難指示シミュレーションを考えるべき。
- 施設整備には多額の予算がかかる。大規模災害では電源喪失の可能性があるため、エアコンよりも自家発電でも耐える扇風機などの対応力のある設備を考えるべき。

ひきこもり支援

苦悩を抱えている家族を支える取組が重要。「い～ばしょばた」もその一つで、現状は相談支援員1名の配置。増員が必要では。

- 他にも連携するところを広げ、そうした中で他の人のフォロー、家族のフォローが大きな力になる。
- いろいろな場所や人員など、連携を密にしながら、支援員は心理士等、有資格者だけでなく、元家族等、様々な要素を取り入れ充実した場所の提供が必要。
- 切実な悩みなので、できるだけ連携をとれる形で進めるべきで複数人にすることが必要。

決算を審査・可決しました

部活動の地域移行

地域移行については、指導者育成を継続していくことが重要だが今後どのように進めるか。

- 少子化の中で持続可能性、働き方改革という部活動の地域移行の趣旨を忘れてはいけない。また、指導者の継続的な育成が重要。育成システムを意識的に作っていくことも重要。
- 常に全国大会を目指す部活動もある。楽しい学校生活の延長線上で休日にも部活動することに応えるため地域移行を進めているが、生活困窮家庭でも格差なく、誰でも参加できる地域移行であるべき。

蔵春閣の利活用

諏訪神社や清水園、五階菱、寺町たまり駅、商店街が一体となり活性化する取組が必要。

- 駅前エリアを元気づけていくかが大切。新発田城、土橋門、水のみちなども上手くつなげ、駅前エリアに波及効果を。
- 個々の施策は様々あるが、市全体として、どのようなまちにしたいのか明確な将来構想を持つことが必要。
- 蔵春閣をランドマークとして認識している市民が多いとは言えない。認識してもらうための取組が必要。



本会議での
認定へ

本会議での賛成・反対の討論は次のページへ

オーガニックSHIBATA

オーガニックSHIBATAプロジェクトは継続して支援を強化すべき。

- 商品として市場に出すことが必要。話題性を高めるため高価格であっても、市民に買ってもらえるような取組とすることで、オーガニックに興味を持つ人、農業従事者を増やすことが必要。
- 生産者の所得向上に繋がるように取り組むべき。オーガニックに取り組んでいない農家との意見の相違もあることから、技術面での支援も必要。



加治川有機資源センターでの現地調査の様子

討論

令和6年度一般会計決算について、
賛成・反対の意見を述べています。

賛成

共道しばた 長島 徹

厳しい経済状況下で、ふるさと納税増額、子育て支援策、ひきこもり支援やパートナーシップ制度等「誰一人取り残さない」取組、健康寿命の伸長を評価する。一方、実質単年度収支の赤字に対する財政運営や防災減災の緊急性の高い取組を強く要望し、決算の課題を次年度予算に反映させることを求め議案認定に賛成する。

賛成

令和会 高橋 茂

将来都市像を目指し、4つの視点である「健康長寿」「少子化対策」「産業振興」「教育の充実」に重点を置きながら、災害対策の特に雨水災害対策の予算拡大を期待し、更なる積極財政政策を期待する。そして、今年度、副市長を二人としたことによる新体制に大いに期待し賛成討論とする。

賛成

市民クラブ 小川 徹

1歳児保育無料化と乳児健診助成、妊産婦健診助成やオーガニックSHIBATAプロジェクトの推進と有機資源センターの堆肥活用、そして脱炭素社会に向けた各種事業の展開、能登半島地震を教訓にした災害対策等々多くの事業に取り組まれたことを高く評価する。財調基金の確保と間違いの無い事務事業の推進をお願いする。

賛成

すすむ会 惣山 かすみ

防災、ひきこもり支援、部活動の地域移行など民間団体との連携や、DX化による職員の業務効率化、残業時間の削減は大いに評価する。市長肝いりのオーガニック施策は伸び悩んでいる。学校給食の質の維持等、物価高対策ができるよう、ふるさと応援寄附金増額や産業振興、国の有利な財源活用の強化を要望し、賛成とする。

賛成

新友会
広岡 けんじろう

令和6年度決算は、歳入歳出の均衡を保ちつつ財政健全性を確保し、市民生活に直結する施策に適切に配分された点を評価。ふるさと納税も過去最高を記録し黒字を確保したことは成果である。一方で人口減少や将来負担増加への対応が課題であり、中長期的な持続可能な財政戦略が求められる。以上を踏まえ、決算の認定に賛成する。

反対

日本共産党市議団
加藤 和雄

物価高騰でくらしや経営が大変。
市内の倒産件数や廃業は3か年で11件、169事業所。学校給食費は実質8%の値上げ。無償化を目指すべきだが、せめて値上げは避けるべき。市税等滞納での差し押さえは255件。強制執行は慎重にすべき。経済対策等は、まだ不十分。支援が必要なところへは緊急的に支援すべき。

賛成

公明党 渡邊 喜夫

带状疱疹ワクチン接種助成を評価。ひきこもり支援では居場所の新設、家族への継続的な支援強化を願う。西名柄・道賀の排水機場が当年度9回稼働し市街地の水害を軽減。排水機場は竣工から約30年経過し長寿命化対策をしながら運転。抜本的な豪雨対策に中田川の早期改修工事へ県に働きかけが重要。持続可能な市政運営を期待。

7つの特別会計、2つの企業会計の決算を 審査・可決。主な議論は次のとおりです。

【コミュニティバス事業】

- Q** コミュニティバスは地域の重要な交通手段として運営されているが、今後の課題と対策は。
- A** 本年度の佐々木地区運行開始と市街地循環路線の拡充で、令和3年から展開してきた新発田版デマンド交通は一旦一区切りついた。地域事情がそれぞれ異なるが、例えば鉄道がある加治川地域や佐々木地区では鉄道での通学が定着して、高校生の利用が低いため、高齢者をメインにしていく必要があると考えている。定期的に地域と検討会議を開催し、改善を図りたい。



【国民健康保険事業】

- Q** 高額療養費支給事業の財源と拠出元について伺う。また、支給金額は増える傾向にあるのか。
- A** 県から交付される普通交付金が高額療養費に限らず医療給付費の財源である。普通交付金の拠出元については、県の会計において、国負担金等が半分、その他市町村からの納付金等を合わせて、普通交付金に充てている。市町村からみると、納付金として納めたものが普通交付金として返ってくるイメージである。また、支給金額については、総額は減少傾向だが、1人当たりの支給額は増加傾向である。

【下水道事業】

- Q** 最近、施設の老朽化により道路が陥没する事案があったが、市では調査しているのか。
- A** 施設の老朽化に対する調査については、埼玉県八潮市の事故が発端となり、国から1日当たりの処理汚水量が30万㎡以上の処理場に接続する口径が2m以上の下水道管路を対象に、点検を実施する要請があった。当市では、調査の対象となる施設はなかったが、自主的に市の地域防災計画に記載された緊急輸送道路に埋設されている下水道管路の目視点検を実施し、異常がなかったことを確認している。

このほかに、特別会計には、土地取得事業、介護保険事業、後期高齢者医療、食品工業団地造成事業、藤塚浜財産区があります。

議会を傍聴してみませんか

市議会では市民の皆さんに身近な問題を審議しています。

市民の皆さんが市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

新発田市民はもちろん、だれでも本会議や委員会の状況を直接ご覧いただけます。



みなさんも
傍聴にお越し
ください！



地方税法等の改正に伴い市税条例を改正します。

- 新発田市税条例の一部を改正する条例制定

<総務常任委員会での質疑>

Q たばこ税について、加熱式たばこへの課税方式が2段階で変わるとのことだが、だいたいどの程度重くなるのか。

A 今回の改正により段階的に紙巻きたばこと同程度になる。

Q 紙巻きたばこ、加熱式たばこの税収はどれくらいか。

A 加熱式たばこの喫煙率は紙巻きたばこと比較して4割程に達していると言われている。令和6年度で、市たばこ税の税収が約6億9千万円であり、4割未満として2億7千6百万円前後を見込んでいる。

寄附物件(有価証券)の売却益を活用した福祉施設等の環境整備に係る補助金の補正をします。

- 下越福祉行政組合参画事業
- 広域養護老人ホーム参画事業

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 寄附物件の有価証券売却収入を、高齢福祉課のあやめ寮の生活環境改善、社会福祉課の地域福祉基金などの歳出に充てているが、どのような内容か。

A 寄附者の意向により、新発田市複合・生涯学習施設(歴史資料館)の整備と、高齢福祉など福祉の推進のために、市で有価証券を売り払い費用に充てている。

契約の変更を行い、塚の目排水区地下調整池整備工事を進めます。

- 契約の変更について(塚の目排水区地下調整池整備(土木)工事)



<総務常任委員会>

塚の目排水区地下調整池整備(土木)工事について、地元との協議により、豊町1号公園利用者の安全に配慮し、施工内容を変更するため、変更契約を行います。

西共同調理場の安定した調理場運営のため受託事業者の事前準備期間を考慮し、今年度中に業者選定を行い、令和8年度から令和12年度までの複数年契約するために予算を補正します。

- 学校給食管理運営事業

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 他の自治体では給食は経費がかかることから請け負う業者がなく給食を停止する事例があるが、業者選定の見込みはあるのか。



A 現在、業者からは、受託を受けられないという申し出はない。安定した給食を提供できるよう受託業者の確保に努めたい。

全国瞬時警報システム(Jアラート)の老朽化した受信機を更新します。

- 災害情報伝達システム整備事業

<総務常任委員会>

全国瞬時警報システム(Jアラート)の導入から7年以上経過し、構成部品の老朽化で全国的に故障が増加していることから受信機を更新する。

市内認定こども園が行う施設設備の経費を支援します。

- 認定こども園支援事業

<社会文教常任委員会>

私立認定こども園が行う施設整備に対し、国の交付金を活用して支援します。



主なものをご報告します

定例会

災害その他非常時に、他の水道事業者又は他の水道事業者が指定した給水装置工事事業者による工事の実施を可能とするように条例を改正します。

●新発田市上水道条例の一部を改正する条例制定について

＜経済建設常任委員会での質疑＞

- Q 他の水道事業者が指定した給水装置工事事業者が実施する工事とは、市が管理する配水管から各世帯が管理する宅内配管までのどの部分の工事なのか。
- A 個人が管理する私有地内の宅内配管の工事である。

新発田地域広域事務組合規約を変更します。

＜総務常任委員会＞

令和8年4月1日から新発田地域広域事務組合の庁舎が移転することに伴い、事務所の位置変更をするため規約変更を行う。



詳細およびここに記載以外の議案は
主な議案等に対する賛否の一覧 市議会ホームページをご覧ください。

9月定例会

9月定例会	議第27号	新発田市税条例の一部を改正する条例制定について	賛成多数
	議第32号	新発田市上水道条例の一部を改正する条例制定について	全員賛成
	議第36号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第4号)議定について	全員賛成
	議第37号	令和7年度新発田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)議定について	全員賛成
	議第38号	令和7年度新発田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)議定について	全員賛成
	議第40号	決算の認定について(令和6年度新発田市一般会計歳入歳出決算)	賛成多数
	議第50号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第5号)議定について	全員賛成
	議会第7号	新発田市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	全員賛成
	議会第8号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書(国会及び関係行政庁あて)	全員賛成
	議会第9号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書(新潟県知事あて)	全員賛成

一般質問

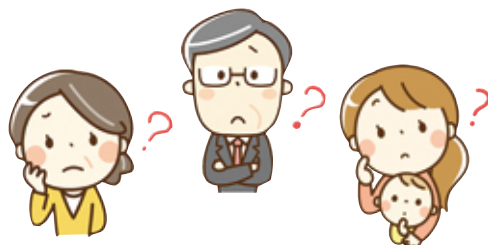
今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 続・副市長の就任過程には大いに疑義がある Q2 紫雲の郷は価値があるうちに早期売却すべき

● 小柳はじめ 議員

- Q 経歴説明で法政大夜間卒から同大中退、更に青山学院大夜間除籍に変遷した過程と理由は。
- A 当初から法政夜間卒と思い込み一般質問答弁時に同中退と認識、7/7本人確認で青山大夜間除籍と判明。
- Q 経歴は採用時の最重要事項だが人事担当がなぜ見落としたのか？長期政権の弊害でないか。
- A 資料では新発田中央高卒で担当課は中退を認

識していたが情報共有されず嚴重注意した。

- Q 一般に中退と異なる除籍理由は。
- A 個人情報の範疇だ。
- Q 年1,500万円もの経費が新たに発生するため確認は重要。
- A 財務省での実績とパイプ役を期待したので学歴は関係ない。



Q1 新発田の偉人有名人を再認識する時期では！ Q2 中学校部活動の地域移行について

● 板倉久徳 議員

- Q 新発田の魅力を人物を含めパネル展示や広報等でより発信しては。
- A 広報に掲載可能か検討するよう指示をしたい。パネル展示も何とかできるような指示をしたい。
- Q 今後の名誉市民の選考について再考する時期なのでは。
- A 誰もが納得する市に功績を与えた方を名誉市民として選考するが、今は考えていない。

- Q 持続可能な活動体制の構築に向け財政面も課題であるが支援体制は。
- A 国や県に財政支援を要望するとともに、寄付等の活用について市長部局とも協議していく。

※ 他、小・中学校体育館へのエアコン設置を求める質問をした。





Q1 市職員のメンタルヘルス対策について
Q2 障がい者の事業所利用時に交通費助成を

● 長 島 徹 議員



- Q 当市のメンタルヘルス相談員の配置について。
- A 担当課に保健師、産業カウンセラー有資格者と市内の精神科医の3名で連携を図り対応。
- Q 早期復職を目指す取組について。
- A 職員に寄り添い復職への意思を最大限尊重し支援を続けている。
- Q 復帰後の職員の心のケア体制は万全に行われているのか。

- A 定期的継続的な面談、情報共有、職場環境の確認を実施。
- Q 当市は送迎サービスが届いていない市外の事業所に通所されている方への交通費助成を何故行わないのか。
- A 事業所数内容は県内トップクラス。是非当市の事業所の利用を。



Q1 リチウムイオン電池の適正処理について
Q2 農地の担い手を協議した地域計画の課題

● 渡 邊 喜 夫 議員



- Q 市内のリチウムイオン電池が原因とみられる火災事故は。
- A 理由は不明だがごみ収集の火災は過去5年で12件。5月は広域焼却場で発生。
- Q リチウムイオン電池の誤排出を防ぎ事故防止と資源循環の周知は。
- A 不燃ごみ等に電池の混入は多く発生。継続的に情報発信。
- Q 高齢化が進む中、将来の農地を担う若手農業

- 者や新規就農者の確保は不可欠。支援策は。
- A 相談窓口の開設と経営発展支援事業や経営開始資金が充実。
- Q 中山間地域の条件不利地では担い手がない。今後の戦略は。
- A 劇的に改善する施策を見出すことは容易でない。課題解決に向け取組を継続。



電池の分別は
安心生活



Q1 大雨による市街地浸水対策について
Q2 学校給食費無償化の準備は進んでいるか

● 高 橋 芳 子 議員



- Q 東新町の内水氾濫の原因と対策は。
- A カルチャーセンター地下の雨水幹線の排水不良、中田川の一刻も早い改修完了を県に申し出る。
- Q アンダーパスの車両進入の今後の対策は。
- A エアー遮断器の導入を県に働きかけた。
- Q 冠水で水深の深い道路の進入制限策は。
- A 警報灯の設置を研究する。
- Q 市街の排水ポンプ3機の有効性と、本丸中

- 学校前の冠水の今後の対策は。
- A 緑町3号排水ポンプは冠水を早期解消、県知事に中田川改修を強くお願いする。
- Q 国から給食費無償化の何か指示はあったか。
- A 具体的内容は示されていない。





Q1 うすがもり保育園の廃園について
Q2 熊被害から住民の命を守る

若月学議員



- Q** 閉園に至るまでの経緯。
- A** R5年度16名、R6年度12名、R7年度6名へと激減。地元との協議結果。
- Q** 保育園の民間譲渡等を検討したか。
- A** していない。
- Q** 希望の持てる中山間地支援は。
- A** 地元の意見を反映させ活性化に取り組む。
- Q** R7年度4月から8月までの熊出没・被害状況は。

- A** 出没数39件の内、大栄町等市街地など18件。被害はない。
- Q** 住民・学校・観光客への注意喚起について。
- A** 住民へ回覧等、学校は熊被害防止出前授業。登山者等、市SNSで注意喚起。



Q1 こども基本条例の施策推進について
Q2 点字ブロックの適切な更新について

三母高志議員



- Q** 「こども基本条例」や「こども計画」を、市民にどう広報する予定か。
- A** 「秋のこどもまんなか月間」にむけ広報したや市街地循環バスで広報したい。
- Q** 「こども議会」や審議会等へこども代表の参加をどう考えているか。
- A** 条例制定時に行った、子どもたちによるワークショップを参考に機会創設を考えたい。
- Q** 点字ブロックの色あせや摩耗、破損はどのような基準で対応しているか。

- A** 点字ブロックの修繕の基準はない。
- Q** 視覚障がい者むけ点字ブロック等ワンストップ窓口について。
- A** 「声の広報」や視覚障がい者を対象にワンストップ窓口を周知したい。



摩耗した点字ブロック



Q1 避難所にエアコンを設置すべきではないか
Q2 民間施設を活用したプール授業をしてはどうか

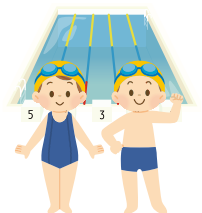
中村こう議員



- Q** 今夏のような豪雨災害で避難所での暑さから避難者を守るためにエアコンを設置すべきではないか。
- A** それぞれの避難所には暑さ寒さに対応できる設備や備品を用意している。エアコンを設置するには維持管理など費用対効果を考えると難しい。
- Q** 天候等に左右されず安全面でも監視が行き

届くうえ専門的な指導を受けられる。プール更新時の工事費等を考慮し小学校のプール授業を民間と連携して実施しては。

- A** プール授業を民間と連携して行うことの有効性は理解できるが、実施費用が多額であるので難しい。今後の課題である。





Q1 人口増に向けた支援強化を

➤ 阿部 聡 議員



- Q 新発田市の人口が平成22年から令和2年の10年間で約6.3%減った。出生率向上に向けた支援策を強化してはどうか。
- A 先進地の取組を研究するなど、当市の実態に即した出生率の向上につながる取組について検討していく。
- Q 生産年齢人口が平成22年から令和2年の10年間で約14.9%減った。高収入を得られる働

き場所を増やす施策を強化してはどうか。

- A 広い用地を必要としないIT・DX関連企業を誘致・育成することだ。私自らが先頭に立ち、人口増に向けてトップセールスに汗をかいていく。



Q1 本市のコメ政策について

Q2 新発田市の平和教育について

➤ 小坂 博司 議員



- Q 主食米の増産には作付け面積の拡大が必要である。数値を示しながら計画的に進めるべきと思うが？
- A 現時点で国、県から数値が示されていない。動向を注視しながら「市農業再生協議会」で議論していく。
- Q 飯豊山系から恵みを得たコシヒカリ等を「加治川米」としてブランド化し、地域活性化に挑戦する意向は？

- A 加治川米のように地域や水系を限定して知名度を上げることは考えていない。

- Q 小・中学校の平和学習の現状と課題、今後の取組は？
- A 年間を通じて取り組むことに課題がある。各学年の教科と関連付けながら指導を続ける。



Q1 身寄りなき死亡人の遺留金・遺骨取扱い問題

Q2 エンディングサポート事業(終活支援)

➤ 広岡 けんじろう 議員



- Q 当市において引取者のない死亡者の遺骨を保管しているのか、現在保管している場所・柱数について教えてください。
- A 現在、市役所本庁舎にて3柱安置している。
- Q 他自治体の取組を踏まえ、遺骨・遺留金の取扱いに関する条例または要綱を制定すべきでは。
- A 現在、国の手引きで対応しており、制定を検討していきたい。

- Q エンディングサポート事業(終活支援)について。

- A 市として新たな支援が可能か、他自治体の制度を参考にし、研究をするよう担当課へ指示した。





Q1 「若者が集うまちづくり」の現状と展望



宮本 佳太 議員

- Q 大型商業施設誘致に新たに取り組む考えはあるか。
- A 市内中小規模事業者への影響に鑑み、主体的に取り組む考えはない。
- Q 直近2年の民間企業誘致実績は。
- A 食品工業団地1件、山崎工業団地1件、キネス天王6件。
- Q 誘致活動に民間活用や他自治体との連携強化検討は。
- A 現時点では検討していない。

- Q 若年・子育て世代の声を市政に反映させる機会を新たに作れないか。
- A 現状設けている機会に加えて、要請があれば個別に実施を検討する。
- Q 当市施設に二次元コードを掲示して若者の声を集め易くできないか。
- A 二次元コードの掲示はすぐに実施したい。



Q1 小農家でも利用可能な農機の補助制度実施を Q2 原発再稼働の判断は県民投票が最適ではないか



宮村 幸男 議員

- Q 南魚沼市の農業機械補助制度が新聞に載った。予算の約5倍の申込みを認めたという。新発田市でも同様の制度を導入してはどうか。
- A 機械導入補助は今考えないが、農業が基幹産業であり離農につながらないよう支援は実施したい。
- Q 原発再稼働の是非は「県民投票」が一番公平ではないか。大地震や豪雪を考えると再稼働できないのでは。

- A 県民投票は県議会では否決、知事選の争点を私が述べるべきでない。地震時の事故、豪雪時の安全確保は課題だ。県は国等と折衝している。最良の判断をするものと思う。



Q1 防災組織の担い手不足について Q2 学校給食に地場産のお茶で食育を



惣山 かすみ 議員

- Q 消防団の充足率は。
- A 92%。外国籍1名。
- Q 自主防災組織に中学生防災リーダーを。
- A しばたの心継承プロジェクトの総合学習に取入れる検討をする。
- Q 外国籍の方を消防団加入促進しては。
- A 外国籍の方に特化せず、これまで通り募集。村部が足りていない。

- Q 消防団フォトコンテスト開催で魅力発信しては。
- A 訓練を妨げる可能性がある。検討してみる。
- Q スポーツ、文化に限らず、子どもたちが活躍している。乳がんのリスクも踏まえ、週1回地元産お茶を。
- A 牛乳は、カルシウム摂取量において欠かせない。お茶の方が高額。





**Q1 必要な介護が受けられるように支援を
Q2 地域医療について**

➤ 加藤 和雄 議員



- Q ヘルパー人材確保事業の進捗は。
- A 「生活援助者研修」の募集を開始した。
- Q グループホームは軽減措置がなく、国民年金だけでは入所できない。支援はできないか。
- A 食費や家賃の支援は第10期介護事業計画の中で実施可能か研究を指示した。
- Q 県立坂町病院等の病床削減や機能の変更など、新発田病院への影響は。

- A 診療体制に影響はなく、基幹病院としての役割を果たすと聞いている。
- Q 新発田病院は地域医療を充実するうえで重要な病院だ。市としても支援をすべき。
- A 医療、介護など連携しており、協力依頼があれば可能な範囲で協力体制を構築する。



議員定数を25人から23人へ

議員発議で議員定数条例の改正案を可決

次回一般選挙
から適用

9月定例会最終本会議において、議員発議で議員定数を2人削減する議員定数条例の改正案が上程され、全員賛成で可決しました。

議員定数及び議員報酬に関する特別委員会 における経過及び報告

市議会議員12名で構成された「議員定数及び議員報酬に関する特別委員会」は令和5年11月に設置され、計28回の議論を経て、今定例会最終本会議で報告を行いました。

議員定数の協議にあたっては、若い世代や女性等の議会への進出や市民意見の反映、類似都市との比較、目指す議会像などの論点項目をもとに議論を重ねました。

これらの議論を踏まえ、次回の一般選挙から議員定数を2人削減し23人とする結論に至りました。

議員報酬については、特別委員会で出た引上げや据置き意見について議長へ報告し、議長から市議会の意見として市長へ送付しました。なお、議員報酬は、今後、新発田市特別職報酬等審議会において検討されます。



議員定数及び議員報酬に関する特別委員会での議論の様子



若者や女性など多様な人材が議員となり、新発田市のまちづくりや未来について活発な議論を行う議会を目指します。

研修・視察の報告



社会文教常任委員会



川崎市麻生区は令和2年に全国一位の平均寿命を達成、入間市は厚労省の第13回健康寿命をのぼそう！アワード表彰で優秀賞を獲得しています。

新発田市も健康や長寿は優れているが、更に健康で元気に暮らせる都市にするにはどうすれば良いのかという視点から視察を行いました。

結果は興味深いものがあり、市民の皆さんに還元できるよう取り組みます。

川崎市麻生区の健康寿命の取組について

8月19日 神奈川県川崎市



健康寿命延伸に向けた取組について

8月20日 埼玉県入間市



村上市議会行政視察に対応しました

7月16日、村上市議会の広報特別委員会が当市議会の議会広報紙の発行と編集について行政視察のため来訪されました。



城下町新発田まつり 民踊流しに参加しました

8月27日



共道しばた

星槎もみじ中学校では新発田市に設置が無い「学びの多様化学校(不登校特例校)」の取組に接し、障がいの有無にかかわらず同じ空間での学びの場があり、教育支援センター車野校同様「誰一人置き去りにしない教育」であることを強く感じました。札幌市子ども発達支援センター「ちくたく」では、医療と福祉が複合のワンストップ窓口で、多様な視点による適切かつ高度な支援の提供がなされていることに感銘を受けました。千歳市防災学習センター「そなえ～る」の取組についても行政視察を行いました。

学びの多様化学校について 星槎もみじ中学校

7月1日 北海道札幌市



子供発達支援センター「ちくたく」について

7月1日 北海道札幌市



千歳市防災学習 交流センター 「そなえ～る」 について

7月2日
北海道千歳市



令和会・市民クラブ・新友会

津市では国土交通省の「防災道の駅」の指定を受けている「道の駅津かわげ」における地元自治体との連携、農産物販売、災害時活用等について視察を行いました。伊勢市での全市博物館構想については、「市全体を一つの博物館」と捉え「地域文化調査」などに市民参加の機会が提供されていました。志摩市では夜間のタクシー供給不足への補完と位置付ける日本版ライドシェアの取組を視察し、当市においても繁華街等への導入で経済活性化の可能性を感じました。

道の駅「津かわげ」について

7月9日 三重県津市



自家用車活用事業(日本版ライドシェア)実証事業の検証結果について

7月11日 三重県志摩市



伊勢市全市博物館構想について

7月10日 三重県伊勢市



議会報告会を開催します！

議会報告会では、令和6年度新発田市一般会計決算関係を中心に9月定例会で審議された内容を報告するほか、意見交換も行います。

蔵春閣、イクネスしばた、本庁舎議場、公民館など、どの会場にご来場されても構いません。

お気軽にお越しください。



開催日	班	時 間	会 場	各班の説明議員	
11月15日 (土)	1 班	午前10時～	新発田地区公民館 赤谷分館	1 班	宮崎光夫、五十嵐良一、 阿部 聡、加藤和雄、 長島 徹、小川 徹
		午後1時30分～	市役所本庁舎4階 議場		
11月22日 (土)	4 班	午前10時～	蔵春閣2階 大広間	2 班	比企広正、宮野清隆、 小柳はじめ、高橋芳子、 広岡けんじろう、渡邊喜夫
		午後1時30分～	イクネスしばた1階 AIKOKIKI未来ルーム (多目的室1)		
11月29日 (土)	2 班	午前9時～	議会報告会 バスツアーを 行います。 ※参加には申込みが必要です。 詳しくは、17ページ または市議会ホーム ページをご覧ください。	3 班	三母高志、湯浅佐太郎、 高橋 茂、宮本佳太、 板倉久徳、石山洋子
		午後1時30分～	市役所本庁舎4階 第1・2・3委員会室		
11月30日 (日)	3 班	午前10時～	イクネスしばた1階 AIKOKIKI未来ルーム (多目的室1) テーマ： 「農業問題について」	4 班	板垣 功、若月 学、 惣山かすみ、宮村幸男、 小坂博司、中村こう
		午後1時30分～	豊浦地区公民館 視聴覚室 テーマ： 「新発田新発見 ふるさと納税について」		



議会報告会バスツアーは、市内公共施設をご案内しながら行います。



ご好評につき 第2弾

参加者
募集

議会報告会バスツアーを実施します!!

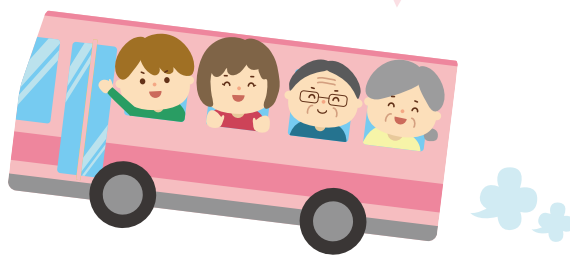
【議会報告会バスツアー申込方法】

- 日 時：11月29日(土)午前9時～正午
- 集合場所：市役所第4駐車場
- 内 容：議員が添乗し、新発田市加治川展示室
(市内遺跡の出土品等を展示しています)、加治川有機資源センター、道の駅
加治川などをバスで巡ります。
- 定 員：30名(先着順)
- 午後1時30分からの議会報告会にも参加してください。
- 申込期間：11月10日(月)午前9時00分～21日
(金)午後5時00分に二次元コードまたは電話で申
し込んでください。
- 問い合わせ：議会事務局庶務調査係
(☎28-9400)
※申込みは、こちら ➡



参加費
無料

ご家族、お子さん、お友達等、是非
お誘いあわせのうえご応募ください。



みなさんの参加お待ちしております。

Web議会報告会は 12月2日(火) 19時配信！

- ※当日「YouTubeLive」のチャット機能でいただいた質問に
リアルタイムでお答えする予定です。
- ※すべてのご意見・ご質問にお答えできるとは限りませんの
でご了承ください。

【参加方法】

新発田市議会のYouTubeチャンネルでライブ配信します。
右の二次元コードを読み取ってご覧ください。
ぜひ、チャンネル登録もお願いします。
※ライブ配信は、配信ページにアクセスしていただければ
どなたでもご覧いただけますが、チャットへの参加には
YouTubeへのログインが必要になります。



二次元コードを読み取ると
上の画面になります



議会からのお知らせ

12月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/30	12/1	2	3	4	5	6
			議会運営 委員会		本会議 (提案理由説明)	
7	8	9	10	11	12	13
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	(一般質問) 議会運営 委員会	常任委員会 (総務)	
14	15	16	17	18	19	20
	常任委員会 (社会文教)	常任委員会 (経済建設)		議会運営 委員会		
21	22	23	24	25	26	27
本会議 (議案等採決)						

※請願・陳情の提出期限は11月27日です。
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

ラジオは録音放送しています

① FM放送

エフエムしばた(76.9MHz)による放送は、本会議一般質問及び代表質問のみを録音放送します。(放送日程はエフエムしばたのホームページなどでご確認ください)



② インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページバナーから聴くことができます。
 (放送日程は①FM放送と同じ)



本会議を生中継しています

市議会ホームページで生中継します。
 下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

市議会ホームページ画面



「本日の議会中継」の『生中継画面へ』をクリック
 (生中継の約10分前にこのボタンが出ます)



『生中継1へ』または『生中継2へ』をクリック

編集後記

この夏は新発田を含め各地で豪雨災害があり、防災への備えの大切さを改めて実感させられました。さらに物価の上昇や首相交代など、暮らしを取り巻く環境は落ち着かない状況が続いています。そんな中でも、市民の皆さまが少しでも安心して暮らせるよう、議会として地域に寄り添った取組を進めてまいります。

また、9月議会では「議員定数を25名から23名へ削減する条例改正案」が可決され、次回の一般選挙から適用されることとなりました。議員一人ひとりが責任の重さを胸に刻み、少数精鋭で力を合わせ、市政の発展に努めてまいります。
 (文責 宮野 清隆)

【広報広聴委員会】委員長／板倉久徳 副委員長／宮野清隆 委員／惣山かすみ・高橋芳子・長島徹・中村こう

令和7年11月4日発行 ©発行・編集／新発田市議会 広報広聴委員会 〒957-8686 新発田市中心町3丁目3-3 新発田市議会事務局
 ©TEL 0254-28-9400 URL: <https://www.shibata-shigikai.jp/>

廃液を出さない環境対応印刷です

